

# うるま市地域活動支援助成事業

平成27年度は14団体が地域活動助成事業の認定を受け地域活動に取り組みました。

## 1. 虹の寺子屋

貧困、ひとり親世帯等による、低学習・夜間の徘徊を、学習支援や居場所を提供することにより防止し、低学歴による就職困難、生活困窮の負の連鎖を断ち切り、未来への希望を抱かせたいという思いで、寺子屋を



【貧困・チャイルドサポートグループ ワンネスの会】



開催しています。中学3年生を対象に、週に2日、2時間余り、公民館を利用し、受験勉強（2次募集まで）のサポートをしています。

## 2. 伝統文化の継承と環境美化整備事業

比嘉区には昔から伝わる伝統文化・芸能が数多く残っています。しかし、近年人口の減少と共に少子高齢化が進み、伝統文化・芸能を継承していくには大変厳しい状況にあります。この事業を実施することに



【比嘉区自治会】

より、多くの方に関心をもってもらい故郷を見つめ直す良いきっかけづくりになればと思い実施しました。環境整備と伝統文化・芸能を継承するため、踊りの練習並びに発表会を開催することに決めエイサー、ウスデーク、伝統芸能の練習に取り組みました。本番当日は「比嘉区伝統文化ふれあいフェスティバル」と題して「かぎやで風、四季口説、加那よ一、あやかり節、上り口説、前の浜、海のチンボーラ、浜千鳥、川平節」の全10曲を披露しました。350人以上の来場者が訪れ、当日の様子が琉球新報に掲載されました。

## 3. 伝統文化と歴史を伝える子どもミュージカル

宮森小学校で起きたジェット機事故の事を、ミュージカル「ひまわりの咲くころに」により表現することで、伝え聞く話より、身近に感じ考える機会になればと考えています。児童が一生懸命がんばり、仲間とともに作り上げる達成感と、多くの人からの激励の気持ちが子どもたちの自己肯定感を高め、自分と地域を好きになれたのではないかと思います。

【特定非営利活動法人 りんく・いしかわ】



児童館でダンスや歌のレッスンを開催し、6月22日に、石川中学校で平和教育の一環として、公演を行いました。

#### 4. 成人発達障がい居場所作りチャレンジ

みどり町児童センターで月に一度、成人の発達障がい当事者会を開催しているボランティア団体です。今回、「成人発達障がい者の居場所作り」を目指して、助成金で勉強会や講演会を開催しました。毎月の



#### 【ゆんたく広場 知る・つながる会 ニュフアスター】

勉強会では講師をお招きし、「発達障がい者にとっての居場所」について学びました。講演会には100名近くの参加があり、発達障がいへの関心の高さを知ることができました。今回9回の勉強会や講演会を通して、福祉や支援は受け身のものというこれまでのイメージから「自分たちにとって必要な事を、自分たちで考える」という姿勢への変化が生まれ、「居場所を作る」という目標を持って活動の継続を決めることができました。今後は地域に居場所となるコミュニティサロンを立ち上げることをめざして頑張ります。

#### 5. 屋慶名大綱引き

無病息災・五穀豊穰を祈願して、先祖代々受け継がれてきた屋慶名区で最も盛大な行事「屋慶名大綱引き」先輩方の指導の下、後輩（子ども、青年会など）へ約1か月間ワラ網指導が行なわれ、技術の伝承のみでなく、世代間の交流も図れた。祭り当日は子供たちがたくましく成長するよう願いを込めて、大綱に約100人

#### 【屋慶名自治会】

の若衆を乗せて行う道じゅねーや、東西の青年が中心になり行う、おしくらまんじゅう（ヨーサイモー）、メインの大綱引きが行われた。県内外からのファンも多く、2日間で1,500人以上の参加者が、暑い夏を忘れ祭りを盛り上げました。

#### 6. ゆいまある見守り隊事業

子育ては一段落したけど、老人会活動にはまだ早い？地域に貢献できることはないかと考え、地域の民生委員を中心としたメンバーで、「ゆいまある協力隊」を結成しました。



#### 【ゆいまある見守り隊】

具志川東中学校区での「あいさつ見守り事業」を通して、子どもたちの素直さにふれ、元気をもらいました。「制服リサイクル」事業では、学校の空き教室を提供していただき、多くの方々の協力のもと、不要になった制服を綺麗にアイロンがけして、再提供することができ、たくさんの方に利用していただきました。



#### 7. 地域活性化ネットワークづくり

グラウンドゴルフ大会、東山まつり、夏休み期間中のトイレの壁画作成、カチャーシー大会出演、国道沿いの花壇づくり等の活動を通して、福祉施設の利用者や公共施設の職員・特に小中高校生徒が自治会活動に積極的に参加してくださいました。この活動を通して、心豊かな環境づくり、各世代それぞれの特性を生かした結びつきを大切にしたネットワークが形成できた

#### 【東山区自治会】

と思います。今後も地域活性化に向け、更なる取り組みの展開が期待されます。



## 8. アウトリガーカヌー体験を通じた健康増進と地域活性化

【ホロホロパドラーズクラブ】

ホロホロパドラーズクラブは、宇堅ビーチを拠点にアウトリガーカヌーを通して自然に親しむことにより、豊かな人格の形成、環境保全意識の向上、そして社会福祉への貢献を目的として活動しているクラブです。今回の支援事業では、自然に親しむことや地域交流による活性化を目的として「カヌー体験」と「カヌースプリントレース」を開催しました。市内外



から延べ180人が参加し、多くの参加者に喜んで頂き高い評価を頂きました。今後は、同事業を継続していくと共に、児童園の子供たちと通年の自然体験活動を開催することになりました。これからも楽しく自分のためにそして社会のために尽くすクラブを目指していきます。



## 9. 世界遺産勝連城跡及び文化財案内ガイド事業

【うるま市史跡ガイドの会】



「うるま市史跡ガイドの会」は世界遺産「勝連城址」を訪れる観光客の皆様

に古琉球時代の歴史を紐解きながら勝連城址の案内をするボランティアグループです。より質の高いガイドを実践するため、

「うるま市文化財案内人養成講座資料」を作成し、ガイドの養成講座を開催しました。



「訪れて感動・住んで自慢のまち・うるま市」ガイドも随時募集しています。

## 10. 児童農業体験事業

【うるま市農業青年クラブ】

児童や園児に農業を体験してもらうことで、自分で育てた農作物のおいしさを感じてもらい、食べ物を大切にする心を養い、農業への興味をもってもらうことを目的として、農業体験（土づくり・植え付け・除草・



栽培管理・収穫)、育てた農作物を使った調理実習を行いました。参加した子どもたちは、人参・玉ねぎ・じゃがいも・スイートコーンの栽培を通して、農業の楽しさを経験するとともに、天候の影響でじゃがいもの栽培がうまくいかず、農業の厳しさも知ることができました。

## 11. 第16回よなしろシーアートフェスティバル

【シーアート実行委員会】

子ども達に地域の自然に触れる機会を与えるとともに、ビーチクリーン活動を通して環境保全について考えるきっかけを作ることを目的に、毎年、夏休み期間中に、海中道路の砂浜で「シーアートフェスティバル」を開催しています。サンドアートの制作をメインに、フラダンスやヒップホップダンス、HYのミニラ



イブ等、毎年様々なイベントが催されています。

## 12. うるまキッズヘルスUP作戦～モリモリ野菜噛めー噛めー～

【うるま市食生活改善推進協議会】

うるま市食生活改善推進協議会は、市民の健康増進のお手伝いをすべく各種料理教室を開催し、食生活の大切さを皆様にお伝えする活動をしています。今回は、子供の頃から正しい食習慣を身につける事が望ましいと考え、子供の食生活改善事業を展開しました。学校給食センターの栄養士を講師にお迎えし、うるま市の子供たちの健康状態や給食について、そして子供達に必要な1日の野菜の摂取量などを学びました。何度も試作を行い、審査会をへて子供達でも簡単に作れる野菜たっぷりのメニューを作成し、「うるまっ子ランチ」が誕生しました。そのメニューを使った親子料理教室の開催は大好評でした。今後も、うるま市の子供

達の正しい食生活の確立に寄与すべくこの事業を継続し、広く地域の皆様へ普及させていきたいと思えます。



## 13. 「宮城島めぐり」ガイド養成事業

【宮城島郷土誌研究会】

宮城島は、「シヌグ堂遺跡」やグスク時代に築城された「泊グスク」及び「南グスク（南山墓含む）」等の遺跡史跡が多数存在する自然豊かな島で、「宮城島郷土誌研究会」は、「島めぐり」ガイド



ブックを作成しこれらを活用した島おこしに協力しております。

「遺跡や史跡めぐり」ガイドのほか、隆起珊瑚礁ででき、湧き水が豊富な島の特定を活かした「島の自然観察会」、「カー（湧き水）めぐり」や「マングローブ、オカガニ及びイノー観察会」なども行われています。

それらを組み合わせた「島めぐり」と並行して、シヌグ堂における島内特産品の販売や島の芸能を披露したりする「たかはなり市」を開催し、島内外の人たちとの交流を深め、島の活性化に取り組んでいます。

## 14. 第4回「大人と子どもの自然学校」ー観て・触れて・遊んで・つながる人の輪ー

【特定非営利活動法人マングローブEEクラブ】

特定非営利活動法人マングローブEEクラブは、平成17年に設立され、マングローブの保全・環境学習・実践活動を通して地球環境の変化を理解し、子どもと大人が協同で持続可能な自然の再生・保護につとめ、共生のための環境を作ることを目的として、うるま市州崎マングローブ湿地と宮城島クカルンダ湿地を拠点に、市内・県内外の幼・小・中・高校生を対象に活動を展開しています。

偶数月第三土曜日（年間6回）に「大人と子供の自然学校」を開催。夏休みには、オカガニ観察会・イノ

一体験・自然めぐり・クラフト教室等も実施しています。

